

■開催期間

7月1日(土)～9月30日(土)

■鵜飼観覧船料金

●貸切船

10人乗… 27,500円

15人乗… 41,250円

20人乗… 55,000円

定員超過の場合、繰上料金となります。

●乗合船

大人… 2,000円

小学生… 1,000円

■ご乗船から下船までの流れ・ご予約について

●貸切船…予約が必要です。

パンフレット「舟」印のお店で船への積み込み料理をご注文される場合、各料理店から船の手配も行っております。貸切船のみご予約をされる場合は、下記へご予約下さい。

乗船

(7/1～9/30)
18:00頃～

船内にてお食事等をお楽しみください。お手洗い等は19時までにお済ませください。

遊覧

●乗合船…予約は必要ございません。

乗船のみとなります。船内での飲食は出来ませんので、予めご了承ください。

(7/1～8/31)

18:00頃～

受付

(9/1～9/30)

17:30頃～

乗船場にてチケットをお買い求めください。受付は、出船時間まで行ってあります。(定員になり次第締め切らせていただく場合があります。)お手洗いは乗船までにお済ませください。

18:30～

乗船

18:00～

19:00

出船

18:30

鵜飼説明

船上から鵜匠による鵜飼の説明をご覧いただけます。

鵜飼ショー

鵜匠が鵜を操る様子を間近でご覧いただけます。

下船

20:00頃

19:30頃

(有)宇治川観光通船
☎0774-21-2328

※時間は、天候、舟数によって変更する場合があります。

■宇治川の鵜飼

宇治川の鵜飼は、平安時代にはすでに行われていたと言われています。天禄2年(971)奈良の長谷寺に参詣した藤原道綱の母は、その往復に宇治を過ぎて、川岸から鵜飼を見物しています。彼女が残した「蜻蛉日記」には、川幅一杯に数え切れぬ程の鵜舟が出て、それぞれにかがり火を焚き舟べりを叩いて、夜通し鮎を捕りつづけている様子が、興味深く書き留められています。当時は、宇治川の風物詩、氷魚を捕る網代とともに、盛んに行われていたようです。

平安時代の後期になると仏教の教えの影響をうけて次第に宇治川での殺生が戒められるようになりました。西大寺の僧 叡尊は、宇治川における殺生の全面的禁断を命じる太政官符により、浮島のあたりに漁具・漁舟を埋め、日本最大の十三重石塔を建立し魚霊を供養し、宇治橋の再興を行いました。そして平安貴族の衰微とともに、宇治川の鵜飼も衰退していきました。現在の鵜飼は、大正15年に再興し、宇治の夏の風物詩となっております。

■鵜匠

鵜を操る人を鵜匠と呼びます。宇治には3名の鵜匠が在籍して

おり、内2名の女性の鵜匠が活躍しています。風折烏帽子に腰みの姿の伝統的な装束で鵜飼を行います。夏の鵜飼シーズンは、もちろんのこと、シーズン以外の時も鵜の世話をしています。宇治川では、鵜匠は6羽の鵜を操り鵜飼を行います。

■鵜

鵜飼の鵜は、渡り鳥でウミウという種類になります。鵜匠は、捕獲された野生のウミウを鵜飼が出来るように訓練します。鋭いくちばしと爪を持つ鵜を、鵜匠が愛情を込めて育て、鵜飼の時には、追い綱(鵜をつなぐ紐)を通じて鵜と繋がります。

■うみうのウッティー

平成26年に日本で初めて人工ふ化で生まれたウミウで、ウッティーと名付けられました。また、平成27年にも2羽、平成28年にも2羽のウミウが生まれ、現在5羽のウッティーたちは、元気に育てられています。鵜匠を親と思い育ったウッティーは、愛嬌たっぷりでお迎えいたします。

*体調等の都合によりウッティーが出演しない場合もあります。



宇治の月「宇治公園(塔の島)の月」「宇治橋三の間の月」が第1回全国名月サミットで「日本百名月」に認定されました。宇治の名月を眺めながら鵜飼の観覧はいかがでしょう。

7月9日(日) 満月、8月8日(火) 満月、9月6日(日) 満月

公共交通機関でのアクセス

- JR奈良線宇治駅より約15分
- 京阪電車宇治駅より約10分

お車でのアクセス

- 《滋賀方面から》
- 名 神/瀬田東IC…京滋バイパス/宇治東IC下車
- 《大阪方面から》
- 名 神/大山崎JCT…京滋バイパス/宇治西第二IC下車
 - 第二京阪/久御山JCT…京滋バイパス/宇治西第二IC下車



※地図中の●の中の数字は中面の各店舗の位置を表しています。

